

## 平成 30 年度 第 2 回健康づくり支援部会 議事録

日 時：平成 30 年 11 月 13 日（火）19 時 35 分～20 時 40 分

場 所：市役所本庁舎 10 階 第 4 会議室

### 会議次第

- 1 開会
- 2 会議
  - (1) 前回、前々回会議の議事録（案）の確認
  - (2) 平成 29 年度 健康推進課決算について
  - (3) 平成 29 年度 保健事業について
  - (4) 第二期けんこう帯広 21 の進捗について
  - (5) その他
- 3 閉会

出席委員： 阿部厚憲委員、吉村典子委員、山本勝弘委員、金須俊雄委員  
前田玲専門委員、角谷巍啓専門委員、小川誠専門委員、岸田智子専門委員  
事務局： 野原健康推進課長補佐、梶穂主査、佐伯裕一主任

### ○事務局

お晩でございます。ただいまから、平成 30 年度第 2 回健康づくり支援部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席は、健康づくり支援部会、委員 8 名中、7 名のご出席をいただいております、出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

これより議事の進行につきましては、阿部部会長にお願いいたします。どうぞよろしく願います。

（19：40 分議事開始前に 1 名の委員到着）

### ○部会長

それでは、会議に入らせていただきます。

最初に、前回、前々回会議の議事録（案）の確認について議題といたします。前々回は昨年度の開催になってしまいますが、確認していただいた中で意見はありますか。

### ○委員

特にありません。

### ○部会長

それでは、議事録は案のとおり了承されました。

次に、平成 29 年度健康推進課決算について議題といたします。

事務局から、説明願います。

#### ○事務局

平成 29 年度健康推進課決算の概要についてご説明させていただきます。資料 1 をご覧ください。

総事業費は 9 億 9,003 万 2,218 円でした。内訳ですが、まず資料左側、保健衛生総務費は決算額 2 億 9,167 万 4,222 円となっております。

主な事業といたしましては、保健衛生推進費として、健康まつりの運営費の負担、難病連十勝支部の事業への補助、AED 貸借などのほか、食・運動改善推進費として、食生活改善推進員と健康づくり推進員の養成及び育成等を行っております。公衆浴場対策費として、市内の公衆浴場の確保と活性化のための各種事業への補助、ふれあい銭湯事業補助等を実施いたしました。

なお、①と番号をふっております、ふれあい銭湯事業につきましては、平成 29 年度から、65 歳以上の高齢者にも対象を拡大したものです。

次に訪問看護促進費として、北海道総合在宅医療ケア事業団の会費、健康増進センター管理費として、大正と川西の健康増進センターの運営管理、看護師等養成機関確保対策費として、十勝管内 19 市町村で運営している高等看護学院の運営費分担金、市内に 2 か所ある看護師養成機関に対する補助等、帯広厚生病院運営費補助事業費として、管内 19 市町村による帯広厚生病院の運営支援、新規事業としてすこやかネット事業、心身障害者歯科治療費補助などを実施しました。

このうち、②の新規事業のすこやかネットは、国の ICT、まち・ひと・しごと創生推進事業を活用した事業になります。マイナンバーカードを活用した、子育て支援機能や健康管理機能を備えた、帯広市すこやかネットのシステムを構築することにより、市民が健康に暮らせるまちづくりを推進するものです。

国の情報通信技術利活用事業補助金利用のため、このシステム構築にかかる帯広市の一般財源負担はありません。平成 30 年 6 月末現在、登録者は 24 名、アクセス数は 4,604 件となっております。

続いて、資料中央の予防費になります。

決算額 5 億 2,614 万 7,940 円となっております。

主な事業といたしまして、がん検診、健康診査費として、各種がん検診や肝炎ウイルス検診、市民健康診査、骨粗しょう検診等に要する経費となっております。予防接種費として、各種定期の予防接種費用、感染症予防費として、65 歳以上の高齢者等及び中学 3 年生、高校 3 年生に対する季節性インフルエンザ予防接種、65 歳以上 5 歳刻みの高齢者等に対する成人用肺炎球菌ワクチン予防接種、エキノコックス症検査を実施しております。また結核予防費として、結核検診、健康相談費として、保健師や栄養士の相談、健康教育費として、各種健康講座、スマートライフプロジェクトの推進を行いました。

③の自殺対策事業につきましては、自殺対策基本法改正により策定が義務付けされました、市町村自殺対策計画として、平成 29 年度に帯広市自殺対策計画（第二期けんこう帯広 2 1 改訂版）を国のモデル事業を活用して策定しました。自殺対策関連事業として、多分野合同研修

会、ゲートキーパー研修会、管理職研修、SOS の出し方教室などを実施したものです。

また、訪問保健指導費として、保健師の個別訪問による保健指導、身体障害者体力向上事業費として、保健福祉センターでの身体障害者を対象にした身体機能向上を目的としたトレーニング事業などを実施しました。

次に、資料右側の夜間急病診療費は、決算額 1 億 3,011 万 9,343 円になっています。

主な事業といたしましては、休日夜間急病センター管理運営費として、指定管理による休日夜間急病センターの管理運営を行っているものです。平成 29 年度から利用料金制が導入され、平成 28 年度までは市の歳入となっていた診察料が、指定管理者が収納し運用することとなったものです。診察料を指定管理者が管理できることで、利用者へのスムーズな対応が可能となり、より効率的な経営ができるものと考えております。利用料金制の導入により、指定管理料は、前年度と比較し、1 億 5,155 万 6,000 円の減となっているものでございます。

次に、救急医療対策費として、在宅当番、二次救急医療、休日歯科診療業務、急病テレホンセンターなどの運営の委託、小児救急医療の補助を行ったものです。

最後に保健福祉センター費は、決算額 4,209 万 713 円となっております。東 8 条南 13 丁目にあります保健福祉センターの管理運営に要する費用でございます。

以上、平成 29 年度決算の概要でございます。

○部会長

以上の報告ですが、質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。

私からですが、先ほど出席した帯広市健康生活支援審議会の資料を見ているのですが、保健衛生総務費の額が一致していません。どこの部分と比較すればよいでしょうか。

○事務局

この点については、すぐにお答えできないことから後日改めて皆様にお伝えしたいと思います。

○部会長

ほかに意見がある方はいらっしゃいますか。

○委員

資料に前年度と比較し増減が大きい事業に番号がついていると説明がありました。これは、前回の議事の際の意見を反映していただいたのだと思います。しかし、比較する数字がないと判断ができません。前年度の額についても記載してほしいと思います。

もう 1 点、前回の会議でふれあい銭湯事業の実績について、決算の際の会議時に報告する話がありました。それを確認してもよいでしょうか。

○事務局

ふれあい銭湯事業における平成 29 年度の報告をさせていただきます。

ふれあい銭湯事業は浴場組合に加入する 11 か所で実施され、合計で 19,841 人の利用がありました。

○委員

前年度の実施銭湯の中で、対象日に非常に混雑し対応が大変であったところがあると聞いています。その影響があつてか、今年度は実施する銭湯も1か所減り、結果的に全体の利用者数は減少するだろうと予測しています。

今後は、実施する銭湯がなくなり事業が縮小することが無いよう工夫が必要ではないでしょうか。

○事務局

昨年度の状況より、これまで浴場組合と実績をふまえて検討する場を設けることや、今年度各実施銭湯それぞれと話し合う場を作る予定であるなど対策を行っています。浴場組合との協議の中では、費用の問題や利用への対応など様々な意見が出たところです。

この事業は地域の人たちに活用していただけるものとしていかなければと考えていますので、関係者や利用者の方々の様々な意見を踏まえて事業の検討が必要だと認識しています。

利用状況の動向を見ながら今後の意見交換をしていくことになっています。

○部会長

補助金で足りない部分は各銭湯が負担している部分ということですか。

○委員

そのように考えます。

○部会長

この事業は30年度も同じ予算ですね。そうすると29年度と同じ結果になるのではないのでしょうか。

○委員

ふれあい銭湯事業というのは、たくさんの方に銭湯に来ていただけるよう周知をすることが目的なのですか。それとも普段銭湯を利用している方の負担を減らすことが目的なのでしょうか。

普段銭湯を利用されている方は高齢者の中でも一部分だと思います。対象者の考え方によって予算の規模も変わってくるのではないのでしょうか。

○委員

予算規模から考え、高齢者の方すべてを対象とした事業とすると計算があわなくなりませんか。

○委員

これは福祉サービスなのですか。この事業の内容から福祉サービスとして行政が行うものではないですね。

○事務局

この事業は福祉サービスと別であると考えています。普段銭湯に来ない方々が誘い合っ  
て一緒にくるなど介護予防としての側面があります。日常的に銭湯にいられている方の補助では  
ありません。

○部会長

より良い事業となるよう、この点については検討をしていただく必要があります。

ほかに意見がある方はいらっしゃいますか。なければ私から 1 点伺います。

すこやかネット事業についてですが、利用者が 24 名と報告がありました。以前モニターを  
募集していて同じくらいの数だったと思います。これ以上利用者は増えないのでしょうか。

○事務局

まだまだすこやかネット事業が理解されていないことと、マイナンバーカードの普及自体も  
低調なことから利用者が少ない状況です。マイナンバーカードを作成するというハードルが高  
いと考えています。

ホームページや各事業で周知しながら参加者を募っているのですが。

○委員

予算はどこから出ているのですか。

○事務局

総務省です。

○委員

国はマイナンバーの普及を図りたいのでしょうね。マイナンバーに絡めるから困難な状況に  
なってきますよね。

○部会長

わずか 24 名のために 2,800 万円も使っているとなると、非常に大きなことに思えます。一  
般募集をしてこの数字になっているのですね。そうであれば、この事業は検討が必要でしょう。

先ほどのふれあい銭湯とこのすこやかネット事業については、今後の会議で確認したいと思  
います。

ほかに意見や質問がある方はいらっしゃいますか。

なければ、次の議題に進みます。

次に、平成 29 年度健康推進課保健事業について議題といたします。

事務局から、説明願います。

○事務局

平成 29 年度保健事業についてご説明いたします。資料 2 の 1 ページ目の 1 保健福祉センタ  
ーの利用状況をご覧ください。

(1)の事業等の利用状況であります。表の一番下に記載しています合計数の利用者の推移をご覧ください。平成 28 年度に比べ、平成 29 年度は利用件数、利用者数ともほぼ横ばいとなっております。

(2)各種相談の利用状況では、相談内容により多少の増減はありますが、概ね平成 28 年度と同様の利用者数となっております。

次に、2 感染症などの予防をご覧ください。

(1)予防接種の実施状況は、ご覧のとおり数字となっております。0 歳児から接種する四種混合ワクチン、BCG、ヒブ、小児肺炎球菌、B 型肝炎について例年どおりの接種率となっております。B 型肝炎は平成 28 年の 10 月より定期接種化され、平成 29 年度通年で実施していることから実施者数が増加しています。

次に、2 ページ目をご覧ください。

(2)結核検診の実施状況につきまして、受診者数は概ね昨年度と同様となっております。

(3)インフルエンザ予防接種の状況ですが、中 3、高 3 と 65 歳以上の高齢者等に対しての接種事業を実施し、実績は記載のとおりとなっております。中 3 高 3 のインフルエンザにつきましては、年々対象者数、接種者数ともに減少しています。昨年度についてはインフルエンザワクチンの供給不足が接種者数の減少につながったと考えています。

(4)成人用肺炎球菌予防接種は平成 26 年度 10 月に開始となり、65 歳以上 5 歳刻みの年齢の高齢者を対象に実施しています。対象年齢がわかりづらいことなどから、対象者へ個別に周知しています。実績は記載のとおりでございます。

(5)エキノコックス症検診の実施状況については、小中学生、一般とも受診者が増加している状況でございます。

2 ページ目中段、3 生活習慣病の予防をご覧ください。

(1)健康教育の実施状況では、働き盛りの人への健康づくりを進め、年々企業からの依頼が多く、参加人数は増加傾向となっております。

(2)健康づくり講座・教室では、表のとおり事業を実施してきております。糖尿病重症化予防の保健指導は、平成 29 年度から小集団の説明会とし、その他個別面接を行っているため人数については減となっております。

3 ページ目をご覧ください。

(3)健康相談、(4)訪問指導、(5)身体障害者体力向上トレーニング事業につきましては、表のとおりとなっております。健康相談の周知や健診事後の対策強化により、利用者数は伸びているものです。

次に、(6)検診の実施状況であります。受診者数はご覧のとおりとなっております。がん検診については、前年度と比べ、受診率は増加しております。託児サービスの実施や女性専用の検診日を設けるなど、がん検診を受けやすい環境整備に継続して取り組んできたことや、ホームページや SNS を利用して検診受診の重要性を周知していることの影響が一定程度現れたものと考えております。

続いて(7)市民健診・健康診査の保健指導は、記載のとおりとなっております。

(8)健診事後指導については、訪問等の保健指導に重点を置き、対象者の見直しを行ったため減となっております。

4 ページ目をご覧ください。

4 自殺対策は、自殺対策関連事業として、多分野合同研修会、ゲートキーパー研修会、管理職研修、SOS の出し方教室を実施し、参加人数はご覧のとおりとなっております。

最後に、5 救急医療体制に関する実施状況であります。

帯広市では、夜間、休日等における医療不安の解消と急病患者に対処するため、休日夜間急病センター運営事業や医療機関の協力をいただき、在宅当番医制や二次救急医療体制を確立しております。利用状況等につきましては、ご覧のとおりです。

○部会長

以上の報告に質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。

○委員

一つ教えてください。4 自殺対策関連事業において管理職研修とあります。この割合は何に対しての数字でしょうか。

○事務局

帯広市の課長補佐職以上の全管理職の内、80.1%が受講しているというものです。自殺対策の推進のためには、庁内職員の理解が必要なことから実施している事業になります。

○委員

帯広市では大人の風しんの患者はでていますか。

○部会長

まだ、発生していませんね。今インフルエンザの患者がではじめています。

これに関連して、インフルエンザワクチンの予防接種についてお話したいことがあります。

インフルエンザワクチンは十勝管内の人口に見合う分の数が配付されています。しかし、各医療機関へのワクチンの配付は、前年度実績をもとにして比例配分されていることから、医療機関によって在庫の偏りが生じています。

自分の例で申し訳ありませんが、病院でもインフルエンザワクチンがかなり不足していて実施できない状況にあります。問屋に問い合わせても、帯広市内で必要なワクチンの数はもう配っていると言われてしまいました。これから予測されるのは来年2月ぐらいに流行が一旦小康状態になったときに、いろいろなところからワクチンが余っているという報告がくると思います。現在使いたい時に使えない状況です。

帯広市の方で、各医療機関のワクチン在庫や予防接種実施状況を確認してもらうことはできませんか。ちなみに帯広保健所ではできませんと言われてしまいました。

○委員

自分の周りの情報に頼るしかない状態ですよ。

○部会長

そうなのです。実施を希望する方はたくさんいるのですが、医療従事者やインフルエンザで

重症化するような疾患がある方、妊婦の方を優先して行うとしなければならない状態です。中3高3といった方は、現在実施できませんとお伝えしています。

在庫が過剰な医療機関があると思います。帯広市で指導など行うことができませんか。そこまですでできなくとも、どの医療機関で予防接種を実施しているか情報をもらうことができればよいのですが。

#### ○委員

行政から医療機関それぞれの状況を伝えることは難しいのではないのでしょうか。

#### ○事務局

インフルエンザワクチンについては、医療機関からの実施報告義務があるわけではないので、調査するのは難しいです。市民の方にはご自分で問い合わせてくださいとお伝えするしかない状況です。把握している情報を伝える時はありますけれど、限界があります。

#### ○部会長

医師会の中でも情報が得られないです。足りないという情報は出てくるのですが、まだ実施できるという話は聞かないです。これは本当に切実な問題で必要な方に接種できないという状況なので、困っています。

来年からは、医療業界全体でルール作りが必要になってくると考えています。

それからもう1点、エキノコックス症検診についてですが、エキノコックス症の報告は年に数件あるかないかだと思います。この状況で検診の体制を整える必要はあるのでしょうか。確かに、市内でもキツネを見かけることは多いのですが、これだけ上下水道が整備された中で改めて市の検診として実施する必要性がないと感じています。

ほかに意見や質問がある方はいらっしゃいますか。なければ、次の議題に進みます。

最後にその他ですが、何かありますか。

なければ、次の報告に進みます。第二期けんこう帯広21の進捗についてお願いします。

#### ○事務局

第二期けんこう帯広21は、ご存じのとおり平成25年度から34年度までの帯広市の健康増進計画になります。昨年度折り返しとして中間評価を実施し、この部会の承認をいただき、4月から改訂版の取組みがスタートしています。

目標達成状況は前年度実績で評価するという性質上、今新たな数値を報告することはないですが、現状について報告をさせていただきたいと思います。

先日、今年度のけんこう帯広21推進委員会が開催されました。会議では指標や関係部課の調整を行うこととしていますが、今回はそれぞれの取組みを着実に推進していくために、各課の課題の洗い出しをしました。庁内関係部課の連携を有効に機能させることで計画の施策を推進していこうと考えています。

今後、会議の内容や指標の達成状況、新たな課題について部会の委員の方々の意見をいただきますので、よろしくをお願いします。

説明は以上です。

○部会長

これからはじまることですので、この部会で厳しく確認をしていきたいと思います。  
ほかに議題がなければこれで終わりたいと思います。事務局から何かありますか。

○事務局

会議中に出た内容で、決算額の確認については後日改めてご連絡をさせていただきます。  
また、次回の健康づくり支援部会は、健康生活支援審議会の実施もありますので、部会長と  
相談のうえ、改めてご案内をさせていただきますのでよろしくお願いします。

○部会長

それでは、以上で予定されている議事は終了いたしました。  
本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。